



平成28年度上半期業績のご報告

日本海しんきん 半期開示レポート

日本海信用金庫の平成28年度上半期(平成28年4月1日～9月30日)における
経営情報についてご報告いたします。

経営方針

1. 「日本海信用金庫ブランド」の確立

- 顧客満足度(CS)の向上
- 社会的責任(CSR)への対応
- 法令等遵守(コンプライアンス)の徹底

2. 「絆の経営」の実践

- 地域再生、活性化への積極的な支援
- 地域課題解決への協力
- 地域産業再生への支援
- 魅力ある商品、サービスの開発

3. リスク管理体制の強化とガバナンスの向上

- 統合的リスク管理への適切な対応
- 内部統制機能及びガバナンスの向上

4. 人材の育成

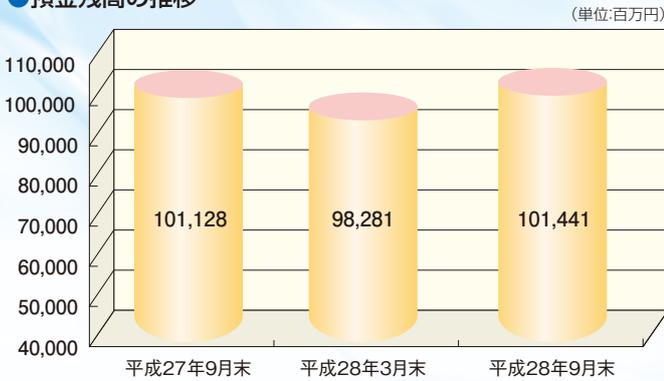
- 人間性あふれる優れた人材の育成
- 「人間力」豊かな課題解決型金融を担う人材の育成



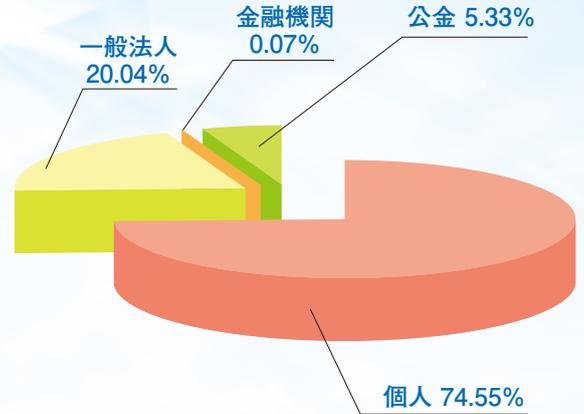
I 預金残高推移・内訳

地域のお客様のご支援により、預金積金は前年同月比312百万円増加の101,441百万円と堅調に推移しました。また、預金積金残高のうち個人預金が74.55%、一般法人預金が20.04%を占めております。

●預金残高の推移



●預金者別残高の割合(平成28年9月末)



(単位:百万円)

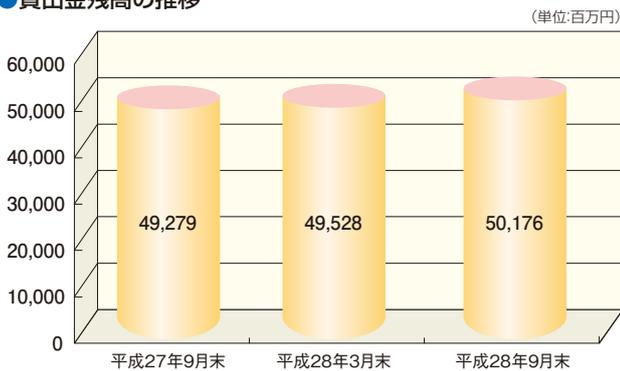
	平成27年9月末	平成28年3月末	平成28年9月末
個人合計	75,472	75,395	75,627
法人合計	25,655	22,885	25,813
うち一般法人	19,665	20,172	20,333
うち金融機関	83	107	69
うち公金	5,907	2,605	5,410
預金積金合計	101,128	98,281	101,441

II 貸出金残高推移・内訳

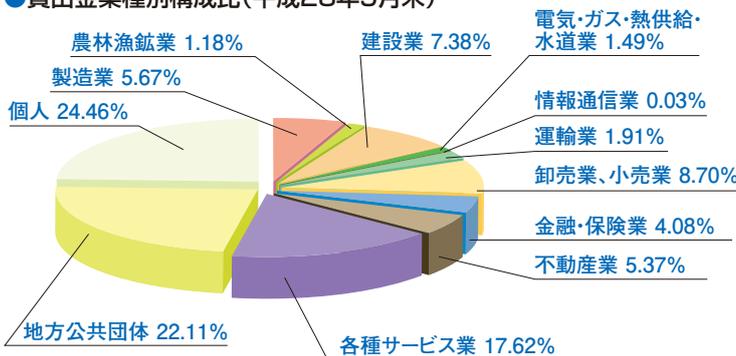
貸出金は前年同月比897百万円増加の50,176百万円となりました。

日本海しんきんは、地域金融機関としてお客様からお預かりした資金を地元の皆様に幅広くご利用いただいています。また、特定の業種やお客様に偏ることのないように留意するとともに、小口多数取引の推進に努め、貸出金資産の健全性を維持、向上していきたいと考えています。

●貸出金残高の推移



●貸出金業種別構成比(平成28年9月末)



(単位:百万円)

日本標準産業分類	平成27年9月末	平成28年3月末	平成28年9月末	貸出金業種別構成比の分類
製造業	3,010	2,870	2,846	製造業
農業、林業	223	211	193	
漁業	321	322	289	農林漁業
鉱業、採石業、砂利採取業	82	88	110	
建設業	3,759	3,695	3,700	建設業
電気・ガス・熱供給・水道業	622	750	749	電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業	22	19	17	情報通信業
運輸業、郵便業	985	1,056	959	運輸業
卸売業、小売業	4,218	4,278	4,366	卸売業、小売業
金融業、保険業	2,015	2,016	2,046	金融・保険業
不動産業	2,609	2,783	2,692	不動産業
物品賃貸業	285	285	269	各種サービス
学術研究、専門技術サービス業	306	277	259	
宿泊業	1,489	1,441	1,464	
飲食業	808	859	859	
生活関連サービス業、娯楽業	913	896	991	
教育、学習支援業	1,507	1,409	1,483	
医療、福祉	1,391	1,724	1,775	
その他のサービス	1,553	1,572	1,741	
小計	26,126	26,562	26,815	
地方公共団体	11,322	10,958	11,091	
個人(住宅・消費・貯蓄・貸付)	11,830	12,007	12,270	個人
合計	49,279	49,528	50,176	合計

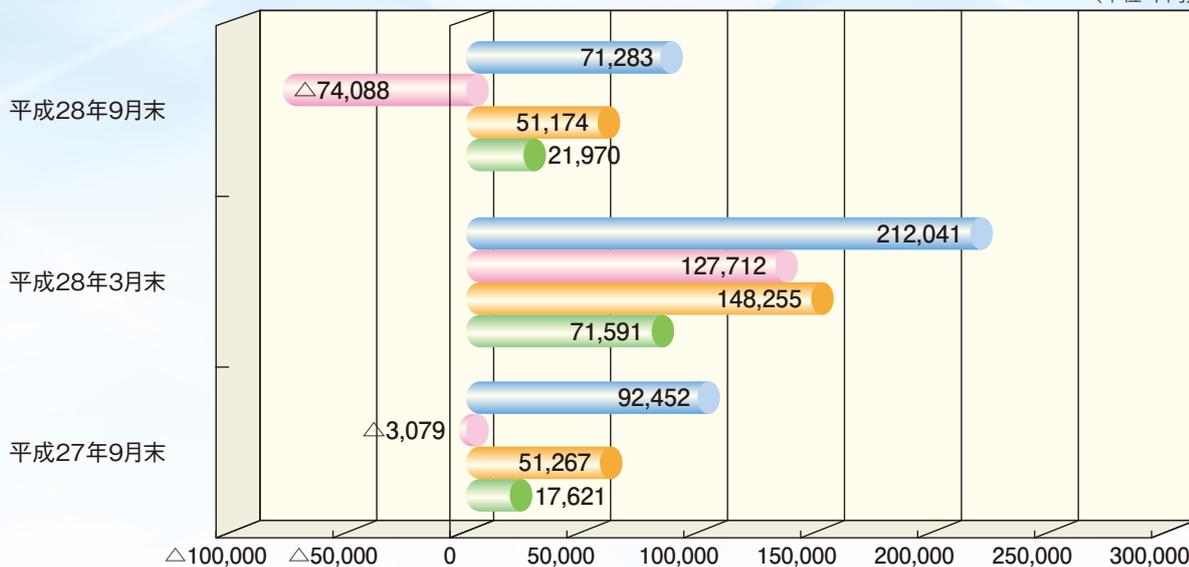
(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

III

損益の状況

平成28年上期の業績は、業務純益71,283千円、経常利益51,174千円、当期純利益21,970千円となりました。地方経済は依然として厳しい状況が続きますが、“地域の責任金融機関”として、皆さまの期待にお応えすべく、役職員一同鋭意努力いたす所存であります。

(単位:千円)



- ※ 「業務純益」および「コア業務純益」は決算速報ベースで記載しております。
- ※ 信用金庫においては中間決算を義務づけられておりません。
- ※ 平成27年9月末および平成28年9月末は期初から6ヶ月間の実績値です。

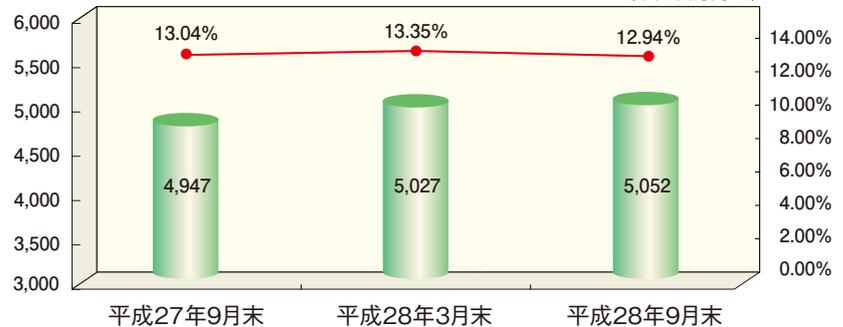
■ 業務純益 ■ コア業務純益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益

IV

自己資本比率について

自己資本比率とは、金融機関が保有する資産に対する自己資本の割合をいいます。金融機関の健全性・安全性といった基礎体力を見るうえで、重要な指標となっています。日本海しんきんの自己資本比率は12.94%と平成28年3月期と比較しますと0.41ポイント低下しましたが、国内基準である4%を大幅に上回っております。

(単位:百万円・%)



■ 自己資本額 —●— 自己資本比率

(単位:百万円・%)

項目		平成27年9月末	平成28年3月末	平成28年9月末
自己資本額	コア資本に係る基礎項目	4,949	5,038	5,056
	コア資本に係る調整項目(▲)	2	10	3
	計(A)	4,947	5,027	5,052
リスク・アセット	オン・バランス項目	34,521	34,377	35,784
	オフ・バランス取引等項目	262	209	167
	CVAリスク相当額を8%で除して得た額	15	12	20
	中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	0	0	0
	オペレーショナルリスク相当額の合計額を8%で除して得た額	3,116	3,050	3,050
	リスクアセット等計(B)	37,916	37,649	39,023
自己資本比率	(A)/(B)×100	13.04%	13.35%	12.94%

注1:自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

V 金利リスクに関する事項

銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの（例：貸出金・有価証券・預け金・預金積金等）について、金利変動により発生するリスク量をみるものです。当金庫の平成28年9月末の金利リスク量は、過去5年間の金利変動データに基づき統計処理（99%タイル値）によって求められた金利変動幅を使用した場合、707百万円となりました。なお、要求払預金（普通預金、当座預金等）の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がありません。お客様の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、要求払預金の50%相当額を期間帯「1年超3年以内（平均2.5年）」に全額置き、リスク量を算定しています。

（単位：百万円）

	平成27年9月末	平成28年3月末	平成28年9月末
金利ショックに対する損益・経済価値の増減額	677	683	707

VI 有価証券の時価情報

● 売買目的有価証券

平成28年3月末、平成28年9月末とも該当ございません。

● 満期保有目的の債券

（単位：百万円）

	種 類	平成28年3月末			平成28年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	63	64	1	60	61	0
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	300	300	0	—	—	—
	小 計	363	365	2	60	61	0
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	2	2	△ 0	3	3	△ 0
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	2,200	2,097	△ 102	2,400	2,249	△ 150
	小 計	2,202	2,100	△ 102	2,403	2,252	△ 150
合 計	2,565	2,465	△ 99	2,463	2,313	△ 150	

（注）1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

● 子会社・子法人等株式および関連法人等株式

平成28年3月末、平成28年9月末とも該当ございません。

● その他有価証券

（単位：百万円）

	種 類	平成28年3月末			平成28年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	31	28	2	4	4	0
	債 券	19,838	18,719	1,118	12,048	11,074	973
	国 債	3,573	3,225	348	2,840	2,524	316
	地 方 債	3,321	3,121	200	2,289	2,100	188
	社 債	12,943	12,373	569	6,918	6,449	468
	そ の 他	5,361	5,001	359	5,810	5,513	297
小 計	25,231	23,750	1,480	17,862	16,591	1,270	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	31	37	△ 5	13	15	△ 1
	債 券	395	405	△ 10	1,058	1,098	△ 39
	国 債	99	99	△ 0	964	997	△ 33
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	296	306	△ 10	94	101	△ 6
	そ の 他	2,119	2,228	△ 109	6,435	6,711	△ 276
小 計	2,547	2,672	△ 124	7,507	7,825	△ 317	
合 計	27,778	26,422	1,355	25,370	24,417	953	

（注）1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

● 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

（単位：百万円）

	平成28年3月末	平成28年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	81	78
非 上 場 投 資 信 託	325	325
組 合 出 資 金	32	32
合 計	440	436

● 金銭の信託

平成28年3月末、平成28年9月末とも該当ございません。

● 第102条第1項第5号に掲げる取引

平成28年3月末、平成28年9月末とも該当ございません。

VII 不良債権への取り組み状況について

日本海しんきんは、每期「金融検査マニュアル」等に基づき、厳格な自己査定を実施し、積極的な不良債権処理を行っております。不良債権に対する保全には貸倒引当金を計上する等万全を期しております。平成28年9月期の不良債権とされる合計額は4,601百万円となりましたが、約93%は担保、保証、貸倒引当金等でカバーされており、健全性・安全性に問題はありません。

●金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

		開示残高(a)	保全額(b)	担保・保証等による 回収見込額(c)	貸倒引当金(d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
①破産更生債権及びこれらに準ずる債権	H28年3月	1,560	1,560	620	940	100.00%	100.00%
	H28年9月	1,540	1,540	612	927	100.00%	100.00%
②危険債権	H28年3月	2,816	2,629	2,144	485	93.37%	72.23%
	H28年9月	2,734	2,543	2,048	495	93.02%	72.18%
③要管理債権	H28年3月	336	201	138	62	59.89%	31.67%
	H28年9月	326	199	138	60	61.13%	32.35%
④小計(①+②+③)	H28年3月	4,713	4,392	2,904	1,487	93.18%	82.24%
	H28年9月	4,601	4,283	2,799	1,483	93.09%	82.36%
⑤正常債権	H28年3月	45,112					
	H28年9月	45,811					
⑥合計(④+⑤)	H28年3月	49,826					
	H28年9月	50,412					

- 注) 1 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 2 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
 3 「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
 4 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、上記以外の債権をいいます。
 5 「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。



VIII トピックス

浜っ子まつり参加(浜田)



国府海岸クリーン作戦参加(浜田)



江の川祭り参加(江津)



100キロウォーク参加(益田)





事業所の名称および所在地

店舗一覧 (平成28年10月末現在)

●本	店	〒697-0027	浜田市殿町83番地1	TEL 0855-22-1850
●西	支店	〒697-0045	浜田市京町58番地	TEL 0855-22-0358
●東	支店	〒697-0033	浜田市朝日町1550番地	TEL 0855-22-0357
●長	浜支店	〒697-0063	浜市長浜町1528番地2	TEL 0855-27-0305
●駅	前支店	〒697-0022	浜田市浅井町1583番地	TEL 0855-22-3700
●三	隅支店	〒699-3211	浜田市三隅町三隅1373番地	TEL 0855-32-2500
●旭	町支店	〒697-0425	浜田市旭町今市365番地3	TEL 0855-45-1313
●益	田支店	〒698-0026	益田市あけぼの本町10番地3	TEL 0856-23-3456
●長	沢支店	〒697-0023	浜市長沢町3036番地	TEL 0855-22-4180
●都	野津支店	〒695-0021	江津市都野津町2280番地	TEL 0855-53-0306
●浅	利支店	〒695-0002	江津市浅利町78番地1	TEL 0855-55-1090
●国	府支店	〒697-0006	浜田市下府町1671番地3	TEL 0855-28-0205
●江	津支店	〒695-0016	江津市嘉久志町2305番地9	TEL 0855-52-2620

●は土、日、祝日ATM稼働店

店外ATMコーナー (平成28年10月末現在)

- ゆめタウン浜田店出張所
- 新町出張所
- 笠柄出張所
- シティパルク浜田出張所
- プリル出張所
- 周布出張所
- イオン益田店出張所
- ジュンテンドー江津出張所
- グリーンモール出張所

●は土、日、祝日ATM稼働店

※済生会江津総合病院出張所は平成28年9月30日をもって終了しました。



帆いっぱい、夢をはらんで。
日本海信用金庫

〒697-0027 島根県浜田市殿町83番地1
TEL (0855) 22-1851 FAX (0855) 22-7858

日本海信用金庫では、スマートフォン向けコミュニケーションアプリ「LINE(ライン)」において「LINE@」のアカウントを開設しました。
日本海しんせんからのお得なキャンペーン情報や商品情報などを手軽に受け取れますので、お友だち登録してご利用ください。

LINE@アカウント情報
アカウント表示名：日本海信用金庫

友だち登録方法

方法1 公式アカウント一覧の検索バーから「日本海信用金庫」で検索して登録する。

方法2 「友だち追加」から右のQRコードを読み取って登録する。



※スマートフォン向けコミュニケーションアプリ「LINE」は、LINE株式会社が提供するアプリです。
※LINEのご利用設定はお客様の判断をお願いします。

ホームページも開設しておりますので、ぜひご覧ください。

URL <http://www.shinkin.co.jp/nihonkai/>

※本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てております。また、本資料に掲載する計数は、監査法人の監査を受けておりません。